

瑞浪超深地層研究所の現状

瑞浪超深地層研究所では、主立坑と換気立坑の掘削作業を行っています。4月22日現在、主立坑は240.2m、換気立坑は205.2mまで掘削が進んでいます。

掘削作業は、研究を行いながら進めています。研究は右の写真のように、実際に研究者が立坑の底に降りて、壁面（地層）の様子をスケッチしたり、写真を撮影したりして行います。



壁面観察の様子
(換気立坑：深さ約205m)

来月の主な作業予定 (5月)

【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑及び換気立坑の掘削作業
- ②深度100m、200mの予備ステージでの水平ボーリング孔を用いた地下水の観測
- ③立坑掘削時の振動を利用して地下を調べる技術の研究
- ④既存ボーリング孔(MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、05ME06号孔)での水圧等の長期観測
- ⑤排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ⑥狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑦研究坑道の排水等に伴う環境管理測定
- ⑧表層水理観測（気象観測、地表の傾斜量の観測等）
- ⑨名古屋大学との共同研究（ひずみ計測等）
- ⑩東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜の長期観測等

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧等の長期観測



地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記の連絡先までお願いいたします。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【Eメール】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターホームページ》：<http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm>

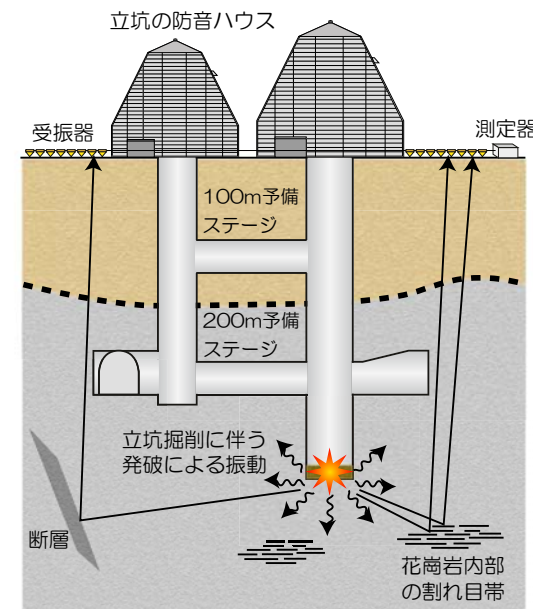
東濃地科学センター 地域交流課（栢、川瀬、牧田、福島）

立坑掘削時の振動を利用して地下を調べる技術の研究

瑞浪超深地層研究所では、立坑の掘削に伴い発生する振動を利用して地下を調べる研究を行っています。

この研究は、坑道内での発破や工事などの様々な振動を利用して、岩盤中の割れ目帯や断層などで反射してくる振動を、地表の受信機で測定することにより、地下の様子を調べるものです。

この研究の平成20年度の実施予定は、平成20年5月から6月末までの間の2週間程度行う予定です。



瑞浪超深地層研究所をしてみませんか？

瑞浪超深地層研究所の地下を体験する見学会を下記のとおり開催いたします。希望される方は事前申込が必要となりますので、5月15日（木）までに住所、氏名、電話番号をお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますのでご容赦ください。なお、見学会は毎月開催する予定です。

【開催日時】平成20年5月18日（日）13:30～15:30

【対象】小学校4年生以上

（ 工事現場での安全の確保のため、お子様の場合は小学校4年生以上の方に限らせていただき、保護者の同行をお願いしております。ご協力をお願いいたします。 ）

【申込み先】左記の連絡先へお願いいたします。

※お知らせいただいた氏名等の個人情報は見学会の目的以外には使用いたしません。

瑞浪国際地科学交流館 ミニギャラリー展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「中日写真協会土岐支部写真展」(仮称)の作品を展示いたします。是非、交流館へ足をお運びください。

また、展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですので、お気軽にお問合せください。

【期 間】5月1日(木)～5月31日(土) 10:00～20:00

【場 所】瑞浪市明世町山野内字大狭間36-8(入館無料)

【休館日】年末年始(月曜日は営業日となりました)

《展示に関するお問合せ先》

地層研ニュース表面の連絡先へお問合せください。

パソコン教習コーナーのご案内

瑞浪超深地層研究所では、パソコン教習コーナーを下記のとおり開催しております。参加希望の方は、日時、人数、お名前を、地域交流課まで、お知らせください。なお都合により、日時の変更をお願いすることがあります。

【期 間】土、日、祭日を除く平日(9:00～17:00)

【場 所】瑞浪超深地層研究所 管理棟 展示スペース

【内 容】パソコンの基本操作(1～2時間程度)

【申込先】地層研ニュースの表面の連絡先へ、電話またはFAX、メールでお問合せください。

※お知らせいただいた氏名等の個人情報はパソコン教習コーナーの目的以外は使用いたしません。

瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定に定める参考値を超えた掘削土の取り扱いについて

平成20年2月4日の自治体の行政検査において、主立坑掘削土の溶出量の砒素の値(0.019mg/l)が参考値(0.01mg/l以下)を超える検査結果となりました。

原子力機構では、この当該掘削土の約500立方メートルを専門処理施設へ搬出し、平成20年3月28日に搬出を完了いたしました。

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」第2条に基づく排水等の測定結果(平成20年3月分)

【採取日:平成20年3月4日(排水、河川水、湧水、主立坑掘削土)】

【採取日:平成20年3月31日(換気立坑掘削土)】

単位:mg/l(水素イオン濃度はpH)

測定項目	管理目標値	工事排水	狭間川下流	※1立坑の湧水	※2狭間川上流	※3掘削土の溶出量(主立坑)	※3掘削土の溶出量(換気立坑)
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.1	7.0	9.7	7.4		
浮遊物質	25以下	1未満	1未満		1未満		
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず					
有機燐	検出されないこと					検出されず	検出されず
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
トリクロロイソ	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロイソ	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
ジクロロメタン	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
1,1-ジクロロイソ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロイソ	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
1,3-ジクロロイソ	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.4	0.4	0.06	0.3		
ふっ素	0.8以下	0.3	0.2	8.9	0.1未満	0.6	0.2
ほう素	1以下	0.39	0.25	1.2	0.02未満	0.03	0.03
塩化物イオン	—			120			
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.45					

※1立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※2狭間川上流は排水が流れない場所での採水のため、値は狭間川の河川の値となります。
 ※3掘削土の溶出量は水中に溶け出した物質の量のことです。
 ※4は管理の対象とならない場所での採水のため、値は狭間川の河川の値となります。
 ※5空間放射線線量は3ヶ月の集積空間放射線線量と同等
 ※63ヶ月の集積空間放射線線量は1時間あたりで表した値。

【測定期間:12月20日～3月27日】

	参考値	測定結果
花木の森散策路における空間放射線線量率	0.07～0.10μSv/h 周辺地域の空間放射線線量率と同等※5	0.08μSv/h 3ヶ月の集積空間放射線線量率※6から算出

注意: ※4は参考値